

＜事業の概要＞

大分県で製造される工業製品を、大分港-清水港間に就航しているRORO船を利用して中部・関東方面に輸送。

(イメージ図)



○現在の行程

- 発荷：・ “大分-大阪間”は瀬戸内海航路のフェリーを利用し、関西以東は高速道路/一般道を利用
- 帰荷：・ 仕向地により運送ルートは異なるが、圧倒的に福岡着の荷であることから、関東方面から大阪までは高速道/一般道を利用し、大阪からは北九州港着のフェリーを利用
- ・ 福岡以外の場合は、適宜対応

●パイロット事業の行程

- 発荷：・ 川崎近海汽船株が運航する大分港-清水港間のRORO船に有人車を積載
- ・ “製造工場→大分港”及び“清水港→仕向地”は陸路
- 帰荷：・ 現在の行程と同様

【検証内容】

- ・ 発荷は、行程の大半をRORO船の利用に転換することによる労働時間の縮減効果の検証
- ・ 帰荷の行程は、仕向地により幾つかのパターンがあるので、それぞれを発荷の行程と併せてトータルで労働時間の縮減効果を検証
- ・ 人件費、運行経費等々のコスト面についても併せて検証

パイロット事業の集団		
発荷主	調整中	工業製品製造者
元受運送事業者	第二種利用運送事業者 ※調整中	
実運送事業者	さくら運輸(株)	
着荷主	調整中	工業製品発注者

－パイロット事業への期待－

このパイロット事業により、労働時間短縮の方策、顕在化している労働力不足への対策、それらを踏まえた新たな物流体系の模索